

新年のごあいさつ



長門市長 松林正俊

心の通う あたたかな市政運営を

新年おめでとうございます。
21世紀の輝かしい新春を迎え、市民の皆さんに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

私も、昨年の5月に市長に就任し、初めての新年を迎えたところでありますが、改めて私が公約いたしました「福祉・環境のまちづくり」、「若さと活力あるまちづくり」、「市民参加のまちづくり」の実現のために決意も新たにいたしましたところであります。

ご承知のように、我が国の経済は回復基調にあると言われながらも、依然として低迷状態にあり、国・地方を問わず厳しい財政事情のもとでの地域活性化、少子高齢化、地球環境保全対策等への取り組みが強く求められております。

このような諸課題を前進させるためには、何といたっても市民と行政の信頼関係を築くことが重要であり、市長就任以来、細やかな情報提供や市民参加のまちづくりに意を注いでおりますが、まだまだ不十分であるうかと思えます。市民の皆様のご意見やご提案を反映させながら問題解決にあたる、そういう心の通うあたたかな市政運営をこれからも基本に

置きたいと思えます。

さて本年4月からは、限られた資源を有効に利用するためのリサイクルセンターが稼働しますが、環境保全のため市民の皆様のご協力のもとに、他に誇れるリサイクルシステムづくりを目指します。



▲リサイクルセンター建設工事安全祈願祭の様子

また、7月にはいよいよ「山口きらら博」が開催されますが、本市といたしましても幅広い参加を通じ、情報発信を行うのは勿論のこと、良い機会でもありますので、海上アルプス青海島や湯本・俵山温泉、さらには「ルネッサながと」を活用した